

本当の“ありがとう”の気持ち

廣畑 恵順 (指導者会理事・ボーイスカウト福島連盟 浪江第1団)



3月11日午後2時46分、この世の終わりかと思うほどの揺れに襲われました。幸いにして命は助かり、家族や団員も無事でしたが、離れ離れになりそれぞれ避難生活が続いています。

今は、日々の暮らしに精一杯ですが、ただ、生かされていることの有難さは何よりも強く感じさせていただいています。

さて、何年か前の冬にボーイスカウトを中心に活動するBP祭(当団ではスキー活動)での出来事でした。

団委員長が挨拶の中で、スカウトたちに「親」という漢字はどういうふうを書く?と質問をしました。私が子供たちを伺っていると、低学年は、「えっ?親っていう漢字?」「お父さん・お母さんは書けるけど・・・。」という様子で書けないようですが、高学年・中学生は書けるようです。

そんな中「立つの字に木の字に見るっていう字で“親”!」と元気よく答えた子供がいました。

「あたり!」と、大きな声で団委員長が答えました。そうして、こう続けました。

お父さん、お母さんは僕たちの事を心配して大きい木に登り、枝の上に立って「子供達は大丈夫かな?」「元気で過ごしているのかな?」っていつもいつも見てくれているんだよ。BP祭とスキーに参加しているスカウト達のお父さん、お母さんはきっと今でも心配をしているよ。いつも活動で集まっている本堂におられる阿弥陀様も、君たちのことを心配して、ずっと見ているんだよ。

阿弥陀様は木の上じゃないけど、何処からでも君たちを見てるから、明日はお寺に戻ったら本堂で阿弥陀様に手を合せてお礼を言うね。ありがとうってね。そして、家に帰ったら「スキーに参加させてくれてありがとう」とお父さんやお母さん必ず言おうね。

団委員長が話終わると、スカウト達は元気に大きな声で返事をしていました。

子供たちの純粋な気持ちに、私たち指導者及び関係者は心を打たれると同時に、改めて親心という有り難さに気づかされた瞬間でもありました。

編集後記

昨年、数年ぶりにスカウトニュースが発行され、これからというところで、組織拡充・広報委員長の岩城満氏がお亡くなりになりました。あまりにも突然のことで大変驚いております。

このたび後任の委員長を務めさせていただくことになりました。微力ではありますが、役務を引き継いでまいりたいと思っております。

折しも今号発行の間際に東日本各地が大震災にみまわれました。報道により日増しに震災の甚大さが伝わってまいります。その凄

まじさ、悲惨さに哀悼の言葉も見当たりません。そんな中で国内はもとより、世界各地より救援の手が差し伸べられ、また、日本人の秩序ある行動などが大変評価されていることも伝わってきております。

被災者の中にはスカウト仲間も多数含まれていることと思われます。報道などを通じて、もし心に感ずるところがあれば、どんな小さなことでもよいので、行動に移すことが大切だと思います。

組織拡充・広報委員長 下間 賢了

【発行日】

2011(平成23)年3月20日

【発行】

浄土真宗本願寺派スカウト指導者会

京都市下京区堀川通花屋町下ル
本願寺宗務総合庁舎 組織教化部内

電話:075-371-5181

FAX:075-351-1211

HP: <http://scout.hongwanji.or.jp/>

復刊第2号

SCOUT NEWS



このたびの東日本大震災により被災されましたすべての皆様に、
謹んでお見舞い申し上げます。

2010(平成22)年度 主な行事一覧

5月29日(土)～ 30日(日)	指導者研修会 開催
8月2日(月)～ 7日(土)	第15回日本ジャンボリー「信仰奨励パビリオン」設置
8月5日(木)	第15回日本ジャンボリー「本願寺派スカウトのつどい」実施
8月21日(土)～ 23日(月)	第51回中央研修会 ※申込人数少数のため中止
10月30日(土)～ 31日(日)	ガールスカウトリーダー研修会 開催
1月27日(木)	評議員会 開催

本願寺派ガールスカウトリーダー研修会

内野 悦子 (指導者会ガールスカウト委員長)

2010(平成22)年10月30日(土)31日(日)、本願寺広島別院を会場とし、「本願寺派ガールスカウトリーダー研修会」が開催されました。

広島、山口、九州などから14名のリーダーと、滋賀県支部より菊池、池本両トレーナーが、また、指導者会ガールスカウト委員会より4名が参加しました。

研修会では「やくそく・おきて」の実践に努め歩んでいく時、本派指導者としての基本に立ち返り、本派スカウトの中心には阿弥さまがあり、親鸞聖人のみ教えがあることを確認出来たと思います。

65年前、広島は戦争により原爆を落とされ、多くの方々が被害を受けました。そのとき家族を亡くされた語り部さんに、資料写真やお話をいただき、研修のテーマである「平和といのち」の大切さを改めて感じました。

夜の自由時間では、別院の台所で地方の持ち寄り



お菓子とお茶で、各団での情報交換やスカウトとの係わり方等々、楽しく有意義な時間を十二分に取れ良かったと思います。



本願寺派スカウト指導者研修会

東森 文昭 (指導者会研修委員長)

2009(平成21)年度は、新型インフルエンザの関係で延期された標記研修会が、2010(平成22)年5月29日(土)、30日(日)の2日間、「スカウティングになぜ宗教が必要か」を研修会テーマとして、本願寺神戸別院で開催された。

研修参加者21名(BS16、GS5)・スタッフ9名が、29日午後1時30分より神戸別院本堂での開会式に臨んだ。勤行、沖井智子副理事長の挨拶、オリエンテーションの後、神戸別院 尾井秀瑛 副輪番より別院の沿革について話をいただいた。

研修に日程は移り、指導者会研修委員の杉本光俊 研修会所長から、今回の研修趣旨、テーマに沿って問題提起がなされ、その後、班に分かれて約2時間30分、グループ討議が行われた。

グループ討議のテーマは、以下の通りである。

1班(日常的な)幸福とは何か?幸福な人生の幸福と同じか?

2班「そなえよつねに」とは?

3班「仏と国とにまことをつくす」「仏に対するつとめ・地域と国と世界への責任をはたす」とは?

日頃の生活やスカウト活動の中から、与えられたテーマに添って熱心に、また情報交換も交えながら討議され、徐々に発表に向けたまとめがなされる。その後、内陣を背景に記念撮影し、宿泊所であるオリエンタルホテルに向かった。

夕食懇親会は、ホテル前から出る豪華なクルーズ

船「ルミナス神戸2」に乗船、明石海峡大橋を目指した。爽やかな海風をうけるデッキで神戸の夜景を満喫するなど、大橋往復のクルージングを2時間楽しんだ。



翌朝、8時に別院に集合し勤行と朝礼後、9時からグループ討議のまとめ作業を行った。それぞれ工夫をこらし発表要旨を記載した模造紙が掲示され、各グループの代表者により発表された。

杉本研修会所長からは、発表内容をもとに身近なスカウト活動や生活で気付いたことなど、3つの討議テーマを通して、研修テーマに迫られた。そして、ベーデン・パウエル最後のメッセージにある幸福な人生を歩むためには、しっかりした信仰心のある生活を強調され、スカウトにそれを伝えるには、まず、リーダー自身が信仰心を持たなければならないとまとめられた。

参加者からは、「答えの出にくいテーマだけに奥深く、色々考えさせられ学ばせていただいた。」「思いを



共にする多くの指導者の方と時間を掛けて意見交換ができてよかった。」「日頃スカウトに関わりながらスカウト運動の理念などをゆっ

くり討議することはあまりなかったが、スカウト活動や自らの姿・人生についてなど広く考えるよい機会であった。」等の声をいただいた。

最後になったが、今回の研修会会場をお引き受けくださった兵庫教区スカウトクラブ、神戸別院職員並びに関係者方々のご理解・ご支援と、杉本研修会所長のご配慮に深謝申し上げる。



第15回日本ジャンボリー

白川 淳敬 (指導者会副理事長)

2010(平成22)年8月2日(月)から8日(日)まで、第15回日本ジャンボリーが静岡県富士宮市朝霧高原で開催され、参加総人数は約2万人にも及んだ。

今回の日本ジャンボリーは、地球開発村、文化の交差点、健康と安全、科学の都市、冒険と自然探究、地域社会奉仕などのプログラムが展開され、スカウトたちは目標や目的を持って参加した。

浄土真宗本願寺派スカウト指導者会は日本ジャンボリー期間中、プログラム部信仰奨励班によって設置された「信仰奨励パビリオン」に出展した。そこに出品した教宗派は浄土真宗本願寺派をはじめ、神社本庁、天台宗、高野山真言宗、浄土宗、真宗大谷派、本門仏立宗、曹洞宗、立正佼成会、孝道教団、日蓮宗、日本カトリック教会、日本聖公会、末日聖徒イエス・キリスト教会(モルモン教)、金光教、世界救世教、イスラム教の18教宗派におよび、スカウト活動は宗教の中にあるということがあらためてアピールされた。

この信仰奨励エリアでは各教宗派とも2間×3間のマーカーテントが配給され、この中で各教宗派のスカウト活動のパネル展示やスカウト関係の教材などを展示した。本願寺派パビリオンでは、本派キャンポリー、仏教章取得研修会などの写真展示。仏教章ハンドブック、スカウト聖典、幼少年向けの冊子、キッズサンガのパンフレット、本派所属団の全国分布地図等の展示及び頒布を行った。

また、テント内に阿彌陀さまの絵像をお迎えし、仏壇を設置。そこでは、朝夕の勤行を勤めることから始まり、訪問して下さるスカウト等に本願寺派の仏壇や作法、教えなどを説明させていただいた。

特に、信仰奨励章取得に挑戦しているスカウトは、この信仰奨励エリアで3か所以上の教宗派を訪問することによって課目を取得できることになっていた。このことから期間中大勢のスカウトが本派パビリオンを

訪れ、そこに常駐していた本派スカウト指導者会のスタッフは大忙しであった。特に法話を担当したスタッフは、次から次へと訪れるスカウトたちに何回も法話をする事になり、嬉しい悲鳴をあげていた。

8月5日午前8時半より「平和のつどい」が開催された。これは前回までの宗教儀礼に代わるもので、今回のジャンボリーからこの名前になった。しかし、各教宗派がアリーナに独自に礼拝場所をもうけ宗教儀礼を行うというもので内容はかわっていない。本派は本派関係スカウトが2,500名集まるという目標で取り組んでいたもので、アリーナ内で大きなスペースをいただき大集会を行った。式典はスカウト指導者会総裁(新門)様御臨席のもと始まり、仏教章修得スカウトの調声により音楽礼拝が勤められた。総裁様お言葉の後、総裁様により仏教章授与が行われた。また、式典参加者全員に記念品が配られた。この記念品はGS滋賀県第44団の池本治子さん手作りの首からかける革製のペンホルダーで、たいへん好評であった。

今回の第15回日本ジャンボリーでは新たなこととして、大会本部に宗教部がなくなり、それにあたる部署がプログラム部信仰奨励班になり、信仰奨励エリアにおいて各教宗派がパビリオンを出展するという形となった。

日曜礼拝、合同礼拝などの宗教儀礼もなくなり、平和のつどい、世界スカウト平和祈念式典という形になった。そうした中、本派スタッフや信仰奨励班スタッフにとまどいがあったが、15NJに集ったスタッフの懸命の奉仕により、たくさんのスカウトや参加者に本派のアピールは出来たと思う。特に信仰奨励章の課題に取り組むたくさんのスカウトに法話をさせていただいたことはとてもありがたいことだったと感じることである。



仏教章を胸に

●2009(平成21)年度 ボーイスカウト

NO.	都道府県連盟	所属団	隊	名前
1	北海道	函館2団	BS	鍛冶 佑樹
2	北海道	函館2団	BS	福士 拓弥
3	北海道	滝川1団	VS	今北 憲明
4	北海道	滝川1団	VS	神部 寛仁
5	茨城県	つくば1団	VS	柏原 弥恵
6	茨城県	牛久2団	VS	林 恵利佳
7	千葉県	銚子2団	VS	石毛 萌
8	千葉県	銚子2団	VS	田村 樹里
9	東京	港16団	VS	柏木 哲
10	東京	港16団	VS	神取 敬矩
11	東京	小平2団	VS	堀越 大
12	東京	小平2団	VS	上阪 紘也
13	東京	杉並2団	VS	鈴木 大樹
14	東京	杉並2団	VS	上條 幹弥
15	東京	世田谷20団	VS	山田 健人
16	東京	世田谷20団	VS	梅澤 太介
17	東京	西東京2団	VS	山崎 圭
18	東京	千代田6団	VS	岡本 拓也
19	東京	多摩3団	VS	児島 玲央名
20	東京	大田1団	VS	関谷 渉
21	東京	大田1団	VS	田中 翔大
22	東京	大田1団	VS	北條 祐弥
23	東京	大田4団	VS	吉田 明生
24	東京	大田4団	VS	瀬下 翔太郎
25	東京	大田4団	VS	星野 紀久
26	東京	大田8団	VS	前野 耕平
27	東京	中央6団	VS	島津 明日香
28	東京	中央6団	VS	加藤 菜摘
29	東京	中央10団	VS	渡部 直樹
30	東京	中央10団	VS	宇治 護
31	東京	中央10団	VS	内田 聖崇
32	東京	中央10団	VS	内田 嵩彬
33	東京	町田3団	VS	千葉 菜月
34	東京	町田6団	VS	遠藤 大地
35	東京	町田15団	VS	村元 晴信
36	東京	町田15団	VS	桑島 雄斗
37	神奈川	横浜79団	VS	若原 裕磨
38	静岡県	伊東3団	VS	松久 健太郎
39	静岡県	伊東3団	VS	村上 恵祐
40	静岡県	三島5団	VS	鈴木 舞
41	富山県	高岡8団	VS	山崎 貴弘
42	富山県	高岡21団	VS	四方 義行
43	富山県	高岡21団	VS	河瀬 善太
44	富山県	高岡21団	VS	安井 翔平
45	富山県	高岡21団	VS	宮脇 悠太

46	富山県	高岡8団	VS	大坪 史門
47	富山県	富山6団	VS	井上 まこと
48	富山県	富山6団	VS	笹井 慶太郎
49	富山県	富山17団	VS	奥田 康範
50	富山県	富山17団	VS	萩原 大也
51	福井	福井7団	VS	吉田 真基
52	岐阜県	関1団	BS	加藤 朋子
53	岐阜県	関1団	BS	神谷 翔子
54	岐阜県	関1団	BS	熊崎 皓太
55	岐阜県	関1団	VS	小澤かおり
56	岐阜県	関1団	VS	神谷 佳裕
57	岐阜県	関1団	VS	林 知史
58	岐阜県	岐阜17団	BS	河出 光
59	岐阜県	岐阜17団	BS	栗原 隆行
60	岐阜県	岐阜17団	BS	花村 亮太
61	岐阜県	岐阜17団	BS	水口 千里
62	岐阜県	岐阜17団	BS	若山 元樹
63	岐阜県	揖斐1団	VS	矢橋 勇輝
64	岐阜県	揖斐1団	VS	森 貴之
65	滋賀	大津20団	VS	羽田 静
66	滋賀	大津20団	VS	羽田 健太郎
67	京都	京都92団	VS	北川 祥太郎
68	奈良県	橿原7団	BS	松本 和希
69	奈良県	橿原7団	VS	吉本 悠起
70	奈良県	高市1団	VS	増田 達紀
71	大阪	大阪21団	VS	川端 利幸
72	大阪	池田6団	VS	西崎 結花
73	大阪	豊中3団	VS	高木 真
74	大阪	高石2団	VS	川俣 博史
75	大阪	大阪94団	VS	倉田 貴生
76	大阪	大阪21団	VS	松井 萌
77	大阪	大阪21団	VS	由良 彩織
78	大阪	大阪136団	VS	佐藤 勇太
79	大阪	茨木6団	VS	岡部 歩
80	大阪	東大阪3団	VS	下ノ坊 祐樹
81	大阪	東大阪3団	VS	樋口 裕季
82	大阪	東大阪5団	BS	西岡 七海
83	大阪	東大阪5団	BS	鍛冶 尚輝
84	大阪	東大阪5団	VS	山野 晃司
85	大阪	八尾8団	VS	永井 健人
86	兵庫県	伊丹11団	VS	大倉 翔太
87	兵庫県	伊丹11団	VS	仲野 孝志
88	兵庫県	姫路2団	VS	吉田 政孝
89	兵庫県	尼崎8団	VS	吉田 一雄
90	兵庫県	西宮9団	VS	山本 梨絵
91	兵庫県	尼崎3団	VS	田井 勇輝
92	兵庫県	姫路6団	VS	田中 克朋

93	兵庫	西宮27団	VS	吉川 千恵
94	兵庫	芦屋1団	VS	濱田 安里彩
95	広島県	広島3団	VS	小谷 鮎
96	広島県	安佐6団	VS	桜本 憲治
97	山口県	下関11団	VS	中村 直希
98	福岡県	福岡32団	VS	紫藤 好堅
99	福岡県	福岡32団	VS	吉水 あかね
100	福岡県	福岡32団	VS	平川 佳乃
101	福岡県	福岡32団	VS	重松 祐貴子
102	福岡県	福岡14団	RS	竹本 昌史
103	福岡県	福岡21団	RS	中村 龍太郎
104	福岡県	福岡21団	VS	吉松 真也
105	福岡県	福岡21団	VS	井上 裕太郎
106	福岡県	福岡21団	VS	榎元 徹志
107	福岡県	福岡21団	VS	平 知紘
108	福岡県	福岡21団	VS	宮崎 賢吾
109	大分県	中津8団	BS	島田 恵輔
110	大分県	中津8団	BS	弓長 頌佳
111	大分県	中津8団	BS	小屋野 悠佑
112	大分県	中津8団	BS	本田 未玲
113	大分県	中津8団	BS	木本 匠
114	佐賀県	佐賀3団	VS	古川 穂高
115	佐賀県	佐賀3団	VS	賀村 航大
116	長崎県	長崎5団	VS	高井 義容
117	鹿児島県	鹿児島2団	BS	田代 篤穂
118	鹿児島県	鹿児島2団	RS	黒田 知範
119	鹿児島県	薩摩12団	BS	春田 優斗
120	鹿児島県	薩摩12団	BS	内藤 一宗
121	鹿児島県	薩摩12団	BS	山下 紘誠
122	鹿児島県	鹿児島18団	VS	松嶋 小百合

●2009(平成21)年度 ガールスカウト

NO.	支部	所属団	隊	名前
1	茨城県	第28団	Rn	川田 千晶
2	茨城県	第28団	Rn	小島 美貴
3	茨城県	第28団	Rn	宮本 華歩
4	茨城県	第28団	Rn	泉 早百合
5	東京都	第126団	Rn	小山 由香
6	東京都	第209団	Rn	藤城 ひかる
7	滋賀県	第44団	Rn	菊池 真耶
8	鹿児島県	第7団	Rn	西園 汐里
9	鹿児島県	第7団	Rn	坂元 里帆
10	鹿児島県	第7団	Rn	福元 李果
11	鹿児島県	第7団	Rn	山下 萌

■ 2011 (平成23)年度 活動方針並びに事業計画

スローガン

仏教章を胸に

活動方針

「親鸞聖人750回大遠忌についてのご消息」を体し、宗門の基幹運動に基づき、豊かな聞法者を育成するためのスカウティングの充実と組織拡充に努める。

重点目標

1. 聞法者の育成—家族そろって朝夕の礼拝を勤める—
2. 組織の拡充
3. 教材資料の発行
4. 各教化団体との情報交換、子どものつどいin本願寺への協力
5. 野外研修道場の確保

事業計画

組織拡充・広報委員会

- ① 組織拡充に関する研究調査
- ② 組織拡充に関する活動
- ③ 『スカウトニュース』の発行
- ④ ホームページの運営

教材委員会

- ① 仏教章の指導者及び教導職のためのマニュアルの作成と活用
- ② 『スカウトハンドブック』・『スカウト聖典』の活用
- ③ 『スカウトハンドブック』の改訂(見直し)

研修委員会

- ① 仏教章修得について
 - (イ) 仏教章研修会の充実
 - (ロ) 仏教章に対する啓発
 - (ハ) 仏教章修得者の掌握
- ② 第6回仏教章修得のための研修会
2012(平成24)年3月28日(水)～31日(土)
会場:本願寺
- ③ 第52回本願寺派スカウト中央研修会
2012(平成24)年3月29日(木)～31日(土)
会場:本願寺
- ④ 研修スタッフ養成の実働(BS指導者講習会の実施)
- ⑤ 教区スカウト指導者会、スカウトクラブ研修会への協力

本年度の目標

1. 親鸞聖人750回大遠忌法要記念第6回本願寺派スカウトキャンポリーの開催並びに参加奨励
2. 親鸞聖人750回大遠忌法要への参拝、並びに奉仕
3. 第19回仏教ガールスカウト研修会・第7回仏教スカウト指導者研修会の参加奨励
(仏教スカウト連絡協議会主催
2012(平成24)年2月25日(土)～26日(日)開催予定)
4. 第6回仏教章修得のための研修会の参加奨励
5. 第52回本願寺派スカウト中央研修会の参加奨励
6. 仏教章修得者の倍増
7. 『仏教子ども新聞』・『フトラハンドブック』の活用
8. 宗門関係学校へはたらきかけ、指導者を育成する

ガールスカウト委員会

- ① 第6回本願寺派スカウトキャンポリーでの「GSのつどい」企画・実施
- ② ガールスカウト日本連盟へ仏教章制度制定に向けて働きかける
- ③ 仏教章につながる部門ごとの独自のバッジ修得をすすめる
- ④ 沙羅-sara trees-(本願寺派ガールスカウトヤングリーダー)の充実
- ⑤ 各種行事、研修会への参加を単元取得につなげる

行事・国際委員会

- ① 親鸞聖人750回大遠忌法要記念 第6回本願寺派スカウトキャンポリー企画・実施
- ② 親鸞聖人750回大遠忌法要参拝・奉仕に関すること

「ちかい・おきて」検討委員会

- ① 「ちかい・おきて」の検討結果の周知(リーフレット発行等)の企画・実施

告知

第6回本願寺派スカウトキャンポリーinあいばの開催

24年前の第1回大会開催の地で

本願寺派スカウト指導者会では、7月30日(土)～8月2日(火)まで親鸞聖人750回大遠忌法要を記念し、滋賀県高島市の陸上自衛隊饗庭野(あいばの)演習場を会場に、「第6回本願寺派スカウトキャンポリーinあいばの」を開催します。

募集人数は、1,500名。テーマは、「見つめよう『いのち』、ありがとう『仲間達』」。7月30日には、本願寺で行われる少年対象の法要行事「子どものつどいin本願寺」の大遠忌法要に参拝します。

真のスカウティングの中心には、「信仰心」があります。本願寺派スカウトの中心には、阿弥陀さまがあり、親鸞聖人のみ教えがあるのです。

「親鸞聖人750回大遠忌法要」を迎えるにあたり、第1回本願寺派スカウトキャンポリーの地「あいばの」で原点に戻り、多くの仲間と語りあい、生かされているいのちを喜び、共にありがとうと集みましょう!

募集に際しての詳細は、すでに各団に配布済みの募集要項をご覧ください。



写真は24年前に開催された第1回スカウトキャンポリーの様子